

平成 30 年度

「校長経営戦略支援予算配付申請書」

大阪市立長原小学校

校長 東 義孝

平成 30 年 4 月

指導部で記入 →

申請受付日

【様式 1】

(所属コード 751732)

大阪市立長原小学校 平成 30 年度 校長経営戦略支援予算配付申請書(総括)

1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の1学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

- ・問題行動の対応については、問題行動が発生した際の組織的な対応・報告・連絡の徹底など再認識するよう努めた。子どもたちの変化に気づき、早期対応ができた。今後も教職員の連携を強化しつつ、問題行動発生の際に迅速に対応できるよう努力していく。
- ・情報の発信については、ホームページのアクセス数は昨年度より 72.8%にもなり大きくアップした。日々学校の様子をホームページに掲載することで、保護者の認知度が高まってきた。
- ・安全対策については、年3回、不審者・火災・地震(津波)の避難訓練や年1回、区役所・消防署・地域と合同で防災訓練を実施するなど、児童の安全対策をより良いものにするべく行ってきた。学校関係者アンケートの評価は目標85%以上に対し、97.3%が「安全対策に努力している」との問いに肯定的な回答をしている。今後も児童の安全対策について様々な意見を聞きつつ見直しを継続するとともに、安全に対する意識を高める活動を進めていく。
- ・学力向上については、国語科を中心にワークシートの活用やひとり学びを通して、自分の考えを深めることができるようになった。「学習アンケート」では「ワークシートを使った学習やひとり学びに進んで取り組んだ」という質問について肯定的な回答は1学期とほぼ同率であった。国語の学習は「わかる」・「楽しい」と肯定的な回答をしている児童は88%、85%あり、成果があらわれていると考える。さらに、ペアトークやグループ討議等のアクティブラーニングにも積極的に取り組んでいる。今後も各学年の系統性をもって、ひとり学びやペアトークを継続して指導していく。
- ・読書活動については、各学級担任の声かけや図書委員会の啓発活動などを通して活発に行われた。平野区独自で作成された読書ノートを活用し、記録の徹底を図っていった結果、読書量増加を目指した、年間読書目標を設定した取り組みで、目標達成者の割合が昨年度より増加した。
- ・道徳教育の推進については、「人の役に立つ」ということについて児童の意識を高める指導に取り組んできた。学級での様々な活動やスマイル班活動、委員会活動等を通して、相手のことを考えて行動することの大切さに気づき、人の役に立ちたいという意識が高まった。学校アンケートでも97.5%が肯定的な回答をしており、「人の役に立っている」という意識は高まっている。今後も継続的に指導をしていく
- ・体育的活動の充実については、課題である跳躍力の向上を目指し、年間を通してなわとびタイムを実施し、ジャンピングボードを常設してなわとび運動の機会を設けた。その結果、「全国体力・運動能力、運動習慣調査」の立ち幅跳びの平均記録が昨年度より、男子10cm、女子17cm以上向上した。学年の跳躍力は目標を上回ることができた。
- ・健康な生活習慣の確立については、就寝時間を各学年に応じて設定し規則正しい生活の意識づけを図った。学級での指導や保健指導、保健だよりや懇談等での保護者への啓発を行ってきた。健康な生活習慣の確立については、家庭との連携が必要であるため、今後も保護者への啓発を行うとともに、学校全体での指導を続けていく。

2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の1学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○平成32年度末の保護者アンケートにおける「学校は、問題が起こったときには迅速に対応している」と答える保護者の割合を全校で90%以上にする。

○平成33年度の全国学力・学習状況調査の「学校のきまりを守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

○平成33年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、「当てはまらない（どちらかといえば、当てはまらない）」と答える児童の割合を5%以下にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○平成33年度の全国学力・学習状況調査「国語」における「書くこと」「読むこと」に関する項目の平均正答率を、大阪市平均以上にする。

○平成33年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。

○平成33年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における立ち幅とびの平均の記録を、大阪市平均以上にする。

○平成33年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」の項目について、「全くしていない（あまりしていない）」と答えた児童の割合を20%以下にする。

3 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む） ※運営に関する計画再掲

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小学校）

- 平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 平成30年度末の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。
- 平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成30年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

- ①平成30年度末の保護者アンケートにおける「学校は、問題が起こったときには迅速に対応している」と答える保護者の割合を全校で86%以上にする。
- ②平成30年度全国学力・学習状況調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を83%以上にする。
- ③平成30年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、「当てはまらない（どちらかといえば、当てはまらない）」と答える児童の割合を8%以下にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

- 平成30年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- 平成30年度の小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童を、前年度より増加させる。
- 平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である立ち幅とびの平均の記録を、前年度より3ポイント向上させる。

学校の年度目標

- ① 平成30年度の全国学力・学習状況調査における「書くこと」「読むこと」に関する項目において、大阪市と本校の平均正答率の差を、前年度より減少させる。
- ② 平成30年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。
- ③ 平成30年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」の項目について、「全くしていない（あまりしていない）」と答えた児童の割合を23%以下にする。

【その他】

- ・問題行動の対応については、問題行動が発生した際の組織的な対応・報告・連絡の徹底など再認識するよう努めた。子どもたちの変化に気づき、早期対応ができた。今後も教職員の連携を強化しつつ、問題行動発生の際に迅速に対応できるよう努力していく。
- ・情報の発信については、ホームページのアクセス数は昨年度より 72.8%にもなり大きくアップした。日々学校の様子をホームページに掲載することで、保護者の認知度が高まってきた。
- ・安全対策については、年3回、不審者・火災・地震（津波）の避難訓練や年1回、区役所・消防署・地域と合同で防災訓練を実施するなど、児童の安全対策をより良いものにするべく行ってきた。学校関係者アンケートの評価は目標 85%以上に対し、97.3%が「安全対策に努力している」との問いに肯定的な回答をしている。今後も児童の安全対策について様々な意見を聞きつつ見直しを継続するとともに、安全に対する意識を高める活動を進めていく。
- ・学力向上については、国語科を中心にワークシートの活用やひとり学びを通して、自分の考えを深めることができるようになった。「学習アンケート」では「ワークシートを使った学習やひとり学びに進んで取り組んだ」という質問について肯定的な回答は1学期とほぼ同率であった。国語の学習は「わかる」・「楽しい」と肯定的な回答をしている児童は88%、85%あり、成果があらわれていると考える。さらに、ペアトークやグループ討議等のアクティブラーニングにも積極的に取り組んでいる。今後も各学年の系統性をもって、ひとり学びやペアトークを継続して指導していく。
- ・読書活動については、各学級担任の声かけや図書委員会の啓発活動などを通して活発に行われた。平野区独自で作成された読書ノートを活用し、記録の徹底を図っていった結果、読書量増加を目指した、年間読書目標を設定した取り組みで、目標達成者の割合が昨年度より増加した。
- ・道徳教育の推進については、「人の役に立つ」ということについて児童の意識を高める指導に取り組んできた。学級での様々な活動やスマイル班活動、委員会活動等を通して、相手のことを考えて行動することの大切さに気づき、人の役に立ちたいという意識が高まった。学校アンケートでも97.5%が肯定的な回答をしており、「人の役に立っている」という意識は高まっている。今後も継続的に指導をしていく
- ・体育的活動の充実については、課題である跳躍力の向上を目指し、年間を通してなわとびタイムを実施し、ジャンピングボードを常設してなわとび運動の機会を設けた。その結果、「全国体力・運動能力、運動習慣調査」の立ち幅跳びの平均記録が昨年度より、男子10cm、女子17cm以上向上した。学年の跳躍力は目標を上回ることができた。
- ・健康な生活習慣の確立については、就寝時間を各学年に応じて設定し規則正しい生活の意識づけを図った。学級での指導や保健指導、保健だよりや懇談等での保護者への啓発を行ってきた。健康な生活習慣の確立については、家庭との連携が必要であるため、今後も保護者への啓発を行うとともに、学校全体での指導を続けていく。

5 30年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲(年度末に記述)

--

※シートが複数枚になってもさしつかえありません。

6 事業執行管理体制名簿

学校長 (東 義孝)
教頭 (山本 尚子)
学校事務職員 (池角 彰浩)

申請受付日

指導部で記入 →

/

【様式 2 - 1】

(所属コード 751732)

大阪市立長原小学校 平成 30 年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

年度目標	達成 状況
<p data-bbox="220 495 1225 528">【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p data-bbox="204 557 539 591"><u>全市共通目標（小学校）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="209 591 1331 656">○ 平成 30 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。 <li data-bbox="209 656 1331 750">○ 平成 30 年度末の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 85%以上にする。 <li data-bbox="209 750 1331 815">○ 平成 30 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 <li data-bbox="209 815 1331 880">○ 平成 30 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 <p data-bbox="204 909 424 943"><u>学校の年度目標</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="209 943 1331 1008">① 平成 30 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、問題が起こったときには迅速に対応している」と答える保護者の割合を全校で 86%以上にする。 <li data-bbox="209 1008 1331 1102">② 平成 30 年度全国学力・学習状況調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 83%以上にする。 <li data-bbox="209 1102 1331 1196">③ 平成 30 年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、「当てはまらない（どちらかといえば、当てはまらない）」と答える児童の割合を 8%以下にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p data-bbox="197 1375 1066 1408">取組内容①【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の整備】</p> <p data-bbox="288 1415 1278 1449">児童の問題行動が起こったときには、教職員が連携して迅速に対応する。</p>	
<p data-bbox="197 1467 1331 1588">指標 平成 30 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、問題が起こったときには迅速に対応している」の項目で「そう思う（どちらかというところ思う）」の回答割合を 86%以上にする。(86%以上…B 87%以上…A)</p>	
<p data-bbox="197 1606 1066 1639">取組内容②【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の整備】</p> <p data-bbox="288 1646 1331 1711">年 3 回(不審者・火事・地震(津波))の避難訓練に加え、交通安全教室、集団下校訓練など様々な児童の安全対策を行う。</p>	
<p data-bbox="197 1733 1331 1854">指標 平成 30 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもたちの安全対策に努力している」の項目で「そう思う（どちらかというところ思う）」の回答割合を 86%以上にする。(86%以上…B 87%以上…A)</p>	
<p data-bbox="197 1861 823 1895">取組内容③【施策 2 道徳心・社会性の育成】</p> <p data-bbox="288 1901 1315 1966">「きまりを守ること」の意義を考えさせ、強調週間や日常での指導を行い、児童の意識を高める。</p>	
<p data-bbox="197 1989 1331 2067">指標 きまりを守ることの大切さに気づかせ、年 2 回以上計画的にアンケートを実施していく。(アンケートで「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と</p>	

答える児童 ①右側歩行すること ②あいさつをすること ③自分の持ち物に名前を書くこと④身だしなみ(名札・黄帽子・服装) ①～④の割合の平均 80%以上…B 85%以上…A	
取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】 学校生活を通して相手のことを考えて行動し、互いに認め合う機会をつくり、「人の役に立つ」ということについて児童の意識を高める。	
指標 人の役に立つことの大切さについて気づかせ、年2回以上計画的にアンケートを実施していく。(アンケートで「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える児童 80%以上…B 85%以上…A)	
取組内容⑤【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学校からの情報を様々な方法で発信する。	
指標 平成30年度のホームページのアクセス数を12,000以上にする。 (13,000以上はA)	

29年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

全市共通目標 (小学校)

- ① 「校内調査」目標 95%以上のところ 100%解消することができ、目標を達成した。子どもたちの変化に気づき、早期に対応してきたために解消できたと思われる。
- ② 「校内調査(学校生活アンケート)」目標 85%以上のところ結果 93.2%で8%上回っている。各学級での指導や強調週間の実施により、きまり・規則を守ろうとする意欲が高まった。
- ③ 「校内調査」昨年・本年とも0件で目標達成することができた。校内が”暴力を許さない”という考えで意思統一できているとともに、各担任が中心となって、児童とのコミュニケーションを深めることにより、子どもたちが落ち着いて過ごすことができています。
- ④ 「校内調査」昨年1件⇒本年1件(増加はしていないが、現状維持)登校支援が必要な児童に対して適切な対応を行い、新たに不登校になる児童を増やさないように取り組んできたが、不登校の解消はできていない。

学校の年度目標

- ① 「学校関係者アンケート」目標 85%以上のところアンケート結果 94.0%で目標達成することができた。校内での組織的連携・保護者への丁寧な対応が評価されつつある。
- ② 「全国学力・学習状況調査」目標 80%以上のところ結果 97.2%で17%以上上回っている。各学級での指導や強調週間の実施により、きまり・規則を守ろうとする意欲が高まった。
- ③ 「全国学力・学習状況調査」目標 10%以下のところ結果 0.0%(当てはまらない0.0%、どちらかといえば当てはまらない0.0%)で目標を達成した。係活動や委員会活動など様々な活動を通して教師の声かけにより、自尊感情が高まり、人の役に立つことのすばらしさを児童が実感している。

年度目標達成に向けた取り組み

- ① 「学校関係者アンケート」目標 85%以上のところ結果 94.0%で目標を上回った。校内での組織的連携・保護者への丁寧な対応が評価されつつある。
- ② 「学校関係者アンケート」目標 85%以上のところ結果 97.3%で目標を上回った。地域防

災訓練・交通安全教室などの様々な取り組みが保護者に評価されつつある。

③ 「校内調査(学校生活アンケート)」目標 80%以上のところ結果 93.2%で 13%上回っている。各学級での指導や強調週間の実施により、きまり・規則を守ろうとする意欲が高まった。また、きまりを守ることを具体的に4つ示したことで、児童が意識しやすかった。

④ 「校内調査(学校生活アンケート)」目標 80%以上のところ結果 97.5%で目標を上回った。係活動や委員会活動、たて割り班活動など様々な活動を通して相手のことを考えて行動することの大切さに気づき、人の役に立ちたいという意識が高まった。

⑤ 「アクセス数」目標 5%以上のところ結果 72.8%アップで目標を上回った。日々学校の様子をホームページに掲載することにより、保護者がホームページを認知しつつある。また、ホームページを通して学校の様子を知りたいという保護者の数が増えていると思われる。

30年度への改善点

全市共通目標 (小学校)

- ① 今後も継続して校内組織の連携を密にし、早急な対応を行っていく。
- ② 今後も継続指導し、「あてはまる」と答える児童の割合を増やしていく。
- ③ 今後も子どもたちが温かい人間関係を築くことができるよう、継続指導を行う。
- ④ 今後も継続して全校で連携し、不登校の解消に取り組んでいく。

学校の年度目標

- ① 今後も継続して取り組んでいく。
- ② 今後も継続指導をし、「あてはまる」と答える児童の割合を増やしていく。
- ③ 今後も継続して指導していく。

年度目標達成に向けた取り組み

- ① 今後も継続して取り組んでいく。
- ② 今後も継続して取り組んでいく。
- ③ 今後も継続指導をし、「あてはまる」と答える児童の割合を増やしていく。
- ④ 今後も継続して指導していく。
- ⑤ 今後も継続して学校の様々な情報を発信していく。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度(今後)への改善点

◆基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

指導部で記入 →

申請受付日
/

大阪市立長原小学校 平成30年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。 ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。 ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童を、前年度より増加させる。 ○ 平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である立ち幅とびの平均の記録を、前年度より3ポイント向上させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 平成30年度の全国学力・学習状況調査における「書くこと」「読むこと」に関する項目において、大阪市と本校の平均正答率の差を、前年度より減少させる。 ② 平成30年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を75%以上にする。 ③ 平成30年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」の項目について、「全くしていない(あまりしていない)」と答えた児童の割合を23%以下にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 家庭と連携し、各学年の読書量を増やす。</p> <p>指標 平野区で作成した読書ノートを活用し、1～4年生は100冊以上、5・6年生は3000ページ以上を目標として、活発に読書活動が進むように取組む。 (達成者が38%以上…B 42%以上…A)</p>	
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 国語学習では各学年に応じて工夫してワークシートやノートを使ったひとり学びを取り入れ、書く活動を継続する。話し合い活動では、ペアトークを中心に、活発に話し合い活動を進める。</p> <p>指標 国語学習アンケートの「ワークシートやノートを使ったひとり学びの学習に進んで取り組んだ」の項目で、「そう思う(どちらかといえばそう思う)」と答える児童の割合を65%以上にする。(70%以上…A)</p>	
<p>取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 週1回のなわとびタイムを1年間通して実施し、ジャンピングボードを活用</p>	

したなわとび運動を続けることにより跳躍力を向上させる。	
指標 1学期（5月のスポーツテスト）と2学期、3学期に立ち幅跳びの記録をとり、5月のスポーツテストの記録に比べて平均値を3cm向上することを目標とする。（3cm以上向上…B 4cm以上向上…A）	
取組内容④【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 毎学期1回1週間の生活リズムアンケートを実施し、規則正しい生活についての意識を高めていく。	
指標 低学年は9時30分まで、高学年は10時までに寝たと答える児童の割合を55%以上にする。55%以上…B 57%以上…A	

29年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

全市共通目標（小学校）

- ① 小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度92に対して本年度96となり、前年度より4ポイント向上し、目標を達成することができた。
- ② 小学校学力経年調査における正答率5.4割以下の児童に関しては、3学年中2学年が3ポイント以上減少することができた。
- ③ 小学校学力経年調査における正答率7.5割以上の児童に関しては、3学年中2学年が3ポイント以上増加することができた。
- ④ 「校内調査(学習アンケート)」昨年度93.2%⇒今年度93.3%でわずかながら増加している。昨年度に引き続き話し合い活動に取り組んだため高い水準での回答となった。
- ⑤ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」立ち幅跳びの平均の記録を昨年度より男子ー約8cm・女子ー約1cmという結果になり、目標を上回ることができなかった。1年間を通して実施したなわとびタイムやジャンピングボードを活用したなわとび運動を行ったが目標を達成できなかった。

学校の年度目標

- ① 「全国学力・学習状況調査」正答率としては昨年度より下がっているが、大阪市・全国とも正答率が下がっている。大阪市との差についてみると以下の表になる。

《大阪市との“差”の推移》

A問題	昨年	本年	B問題	昨年	本年
書くこと	4.5	1.9	書くこと	3.2	2.0
読むこと	11.0	5.2	読むこと	5	1.7

上記から、大阪市との差は縮まっている。概ね2ポイント以上向上したとも考えられる。今後、評価の仕方を工夫する必要がある。

- ② 「全国学力・学習状況調査」目標70%以上のところ、結果88.9%で目標を上回ることができた。日々の授業でペア学習や交流活動を意識的に取り組んだので、昨年度より大幅に向上した。
- ③ 「全国学力・学習状況調査」目標25%以下のところ、結果2.8%(全くしていない0%、あまりしていない2.8%)で目標を上回ることができた。目標の時間に寝ることを設定した生活リズムアンケートを継続して実施してきたことで児童や保護者の意識が高まっている。

年度目標達成に向けた取り組み

- ① 「校内での読書記録」目標40%以上のところ、結果50%で目標を上回ることができた。読書ノートを活用、読書の記録を毎月記入、目標達成者の名前掲示などを行うことで、

読書活動が活発に行われた。

- ② 「校内調査(学習アンケート)」目標 70%以上のところ結果 96.4%で目標を上回ることができた。ワークシートやノートを活用して書く活動を継続的に取り入れ、話し合い活動も活発にできた。
- ③ 「各学期での測定結果」立ち幅跳びの記録が、全校平均して 7.8cm 向上し、目標の 4cm を上回っている。なわとびタイムの実施やジャンピングボードを活用したなわとび運動で跳躍力が向上した。
- ④ 「校内調査(生活リズムアンケート)」目標 55%以上のところ、結果 64.7%で目標を上回ることができた。生活リズムアンケートや学級での指導を継続してきたことで、早寝早起きについての意識が高まった

30 年度への改善点

全市共通目標 (小学校)

- ① 経年調査の結果をもとに、各学年で重点的に指導すべきポイントを把握して指導に活かし、大阪市・全国の平均点に近づくことができるようにする。
- ② と③経年調査の結果をもとに、各学年で重点的に指導すべきポイントを把握して指導に活かし、全学年での目標達成を目指す。
- ④引き続き話し合い活動に取り組んでいく。
- ⑤ なわとびタイムやジャンピングボードを活用したなわとび運動を行う事により、全校での立ち幅跳びの記録は大幅に伸びている。今後も継続して指導していく。

学校の年度目標

- ① 初読の文章を読み取る力をつける。普段の授業の中で、「書く力」「読む力」がつくように継続指導する。
- ② 今後も継続して取り組んでいく。
- ③ 今後も継続して取り組んでいく。

年度目標達成に向けた取り組み

- ① 今後も継続する。
- ② 今後も継続する。
- ③ 今後も継続して指導する。
- ④ 健康委員会の活動も含め、今後も継続して指導していく。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度 (今後) への改善点

◆基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

学校申請額 799,668 円

※配付上限額(※円単位)									
学校配当		学級数		学級配当		特別支援学級数		学級配当	
350,000	+	6	×	50,000	+	3	×	50,000	
配付上限額									
=	800,000								

※本様式に加えて、様式 4-1 の提出が必要です。

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】		
国語学習では各学年に応じて工夫してワークシートやノートを使ったひとり学びを取り入れ、書く活動を継続する。話し合い活動では、ペアトークを中心に、活発に話し合い活動を進める。		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
1 2 - 1	4 年 市立科学館への交通費 (長原～肥後橋) @256×36	¥ 9 2 1 6
9 - 5	4 年 市立科学館引率者の交通費 (長原～肥後橋) @576×3	¥ 1 7 2 8
1 4 - 1	4 年 市立科学館プラネタリウム観覧料 @240×39	¥ 9 3 6 0
1 2 - 1	3 年 今昔館への交通費 (長原～天神橋筋 6 丁目) @256×30	¥ 7 6 8 0
9 - 5	3 年 今昔館引率者の交通費 (長原～天神橋筋 6 丁目) @512×2	¥ 1 0 2 4
1 2 - 1	5 年 読売テレビへの交通費(地下鉄八尾南大阪ビジネス パーク) @256×32	¥ 8 1 9 2
9 - 5	5 年 読売テレビ引率者への交通費(地下鉄八尾南大阪ビ ジネスパーク) @576×2	¥ 1 1 5 2
1 2 - 1	6 年 ピース大阪 大阪城への交通費 (地下鉄八尾南～森ノ宮) @256×34	¥ 8 7 0 4
9 - 5	6 年 ピース大阪 大阪城引率者の交通費 (地下鉄八尾南～森ノ宮) @ 576 ×2	¥ 1 1 5 2
1 1 - 1	3 年 昔のくらし体験	¥ 8 7 2 0

	丸もち 1 kg @700×8=5600 紙皿 @170×2=340 醤油 250 きな粉 200g @125×2=250 着火剤 450 木炭 3 kg 1500 砂糖 500g 150 割りばし 180	
12-4	漢字検定受験料	¥70000
11-1	漢字検定対応問題集 @1000×3	¥3000
13	長原ガーデン 花壇整備	¥200,000
18-3	低学年 学級文庫用図書 @2100×39	¥81900
<p>取組内容②取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>学校生活を通して相手のことを考えて行動し、互いに認め合う機会をつくり、「人の役に立つ」ということについて児童の意識を高める。 ()</p>		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
8-1	学生リーダーの謝礼金 @7000×3日×2名	¥42000
8-1	学生リーダーへの交通費 @2000×2名	¥4000
	・	
	・	
	・	

申請受付日

指導部で記入 →

/

【様式 3 - 1】

(所属コード 751732)

大阪市立長原小学校 平成 30 年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書

年度目標	達成 状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 30 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ○ 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。 ○ 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。 ○ 平成 30 年度の小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童を、前年度より増加させる。 ○ 平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である立ち幅とびの平均の記録を、前年度より 3 ポイント向上させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 平成 30 年度の全国学力・学習状況調査における「書くこと」「読むこと」に関する項目において、大阪市と本校の平均正答率の差を、前年度より減少させる。 ② 平成 30 年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」の項目について、「当てはまる (どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 75%以上にする。 ③ 平成 30 年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」の項目について、「全くしていない (あまりしていない)」と答えた児童の割合を 23%以下にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 家庭と連携し、各学年の読書量を増やす。</p>	
<p>指標 平野区で作成した読書ノートを活用し、1～4年生は 100 冊以上、5・6年生は 3000 ページ以上を目標として、活発に読書活動が進むように取り組む。(達成者が 35%以上…B 40%以上…A)</p>	
<p>取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 国語学習では各学年に応じて工夫してワークシートやノートを使ったひとり学びを取り入れ、書く活動を継続する。話し合い活動では、ペアトークを中心に、活発に話し合い活動を進める。</p>	
<p>指標 国語学習アンケートの「ワークシートやノートを使ったひとり学びの学習に進んで取り組んだ」の項目で、「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と</p>	

答える児童の割合を 65%以上にする。(70%以上…A)

29 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

全市共通目標（小学校）

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度 92 に対して本年度 96 となり、前年度より 4 ポイント向上し、目標を達成することができた。
- 小学校学力経年調査における正答率 5.4 割以下の児童に関しては、3 学年中 2 学年が 3 ポイント以上減少することができた。
- 小学校学力経年調査における正答率 7.5 割以上の児童に関しては、3 学年中 2 学年が 3 ポイント以上増加することができた。
- 「校内調査(学習アンケート)」昨年度 93.2%⇒今年度 93.3%でわずかながら増加している。昨年度に引き続き話し合い活動に取り組んだため高い水準での回答となった。
- 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」立ち幅跳びの平均の記録を昨年度より男子一約 8 cm・女子一約 1 cm という結果になり、目標を上回ることができなかった。1 年間を通して実施したなわとびタイムやジャンピングボードを活用したなわとび運動を行ったが目標を達成できなかった。

学校の年度目標

- ① 「全国学力・学習状況調査」正答率としては昨年度より下がっているが、大阪市・全国とも正答率が下がっている。大阪市との差についてみると以下の表になる。

《大阪市との“差”の推移》

A問題	昨年	本年	B問題	昨年	本年
書くこと	4.5	1.9	書くこと	3.2	2.0
読むこと	11.0	5.2	読むこと	5	1.7

上記から、大阪市との差は縮まっている。概ね 2 ポイント以上向上したとも考えられる。今後、評価の仕方を工夫する必要がある。

- ② 「全国学力・学習状況調査」目標 70%以上のところ、結果 88.9%で目標を上回ることができた。日々の授業でペア学習や交流活動を意識的に取り組んだので、昨年度より大幅に向上した。
- ③ 「全国学力・学習状況調査」目標 25%以下のところ、結果 2.8%(全くしていない 0%、あまりしていない 2.8%)で目標を上回ることができた。目標の時間に寝ることを設定した生活リズムアンケートを継続して実施してきたことで児童や保護者の意識が高まっている。

年度目標達成に向けた取り組み

- ① 「校内での読書記録」目標 40%以上のところ、結果 50%で目標を上回ることができた。読書ノートを活用、読書の記録を毎月記入、目標達成者の名前掲示などを行うことで、読書活動が活発に行われた。
- ② 「校内調査(学習アンケート)」目標 70%以上のところ結果 96.4%で目標を上回ることができた。ワークシートやノートを活用して書く活動を継続的に取り入れ、話し合い活動も活発にできた。
- ③ 「各学期での測定結果」立ち幅跳びの記録が、全校平均して 7.8cm 向上し、目標の 4cm を上回っている。なわとびタイムの実施やジャンピングボードを活用したなわ

とび運動で跳躍力が向上した。

- ④ 「校内調査(生活リズムアンケート)」目標 55%以上のところ、結果 64.7%で目標を上回ることができた。生活リズムアンケートや学級での指導を継続してきたことで、早寝早起きについての意識が高まった

30年度への改善点

全市共通目標 (小学校)

- 経年調査の結果をもとに、各学年で重点的に指導すべきポイントを把握して指導に活かし、大阪市・全国の平均点に近づくことができるようにする。
- と③経年調査の結果をもとに、各学年で重点的に指導すべきポイントを把握して指導に活かし、全学年での目標達成を目指す。
- 引き続き話し合い活動に取り組んでいく。
- なわとびタイムやジャンピングボードを活用したなわとび運動を行う事により、全校での立ち幅跳びの記録は大幅に伸びている。今後も継続して指導していく。

学校の年度目標

- ① 初読の文章を読み取る力をつける。普段の授業の中で、「書く力」「読む力」がつくように継続指導する。
- ② 今後も継続して取り組んでいく。
- ③ 今後も継続して取り組んでいく。

年度目標達成に向けた取り組み

- ① 今後も継続する。
- ② 今後も継続する。
- ③ 今後も継続して指導する。
- ④ 健康委員会の活動も含め、今後も継続して指導していく。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度（今後）への改善点

◆加算配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

大阪市立長原小学校 平成 30 年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書

学校申請額 619,500 円

※本様式に加えて、様式 5-1 の提出が必要です。

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 家庭と連携し、各学年の読書量を増やす。		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-3	漢和辞典(高学年用)@4000円×40冊	¥160000
18-3	漢和辞典(低学年用)@3000円×40冊	¥120000
取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 国語学習では各学年に応じて工夫してワークシートやノートを使ったひとり学びを取り入れ、書く活動を継続する。話し合い活動では、ペアトークを中心に、活発に話し合い活動を進める。		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
12-4	漢字検定受験料	¥333500
11-1	漢字検定対応問題集@1000円×6冊	¥6000

大阪市立長原小学校 平成 30 年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書
(補足説明資料)

1. 本校の現状と課題

本年度は「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」の目標のもと、特に、基礎学力の向上に力を入れていかなければならない。本校にとって、基礎学力の向上は積年の課題である。全国学力・学習状況調査では、国語・算数ともに平均正答率が全国平均から大きく下回る結果が続いている。昨年度の結果も平均して10%をこえる差がある。その中でも国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均を大きく下回った。国語の基礎学力の中心である言語力（漢字などの文字の読み書き）に大きな課題を残した。

本校は読書活動の活性化を目標設定において取組みを進めている。この読書活動の活性化を進めるためにも言語力の基礎の習得に特化した取組みを取り入れる必要がある。

2. 子どもの学習意欲の喚起と家庭学習

昨年度の全国学力・学習状況調査の児童質問紙の回答から「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」や「家で、学校の授業の予習をしていますか」の質問に否定的な回答をしている児童の割合が、全国平均と比べて多くなっている。家庭学習の習慣づけと児童の意欲向上につながる学力向上対策の必要性が明確である。

家庭での学習において、家族（父・母など）の声掛け、指示は子どもの励みとなる。家族がともに声掛けしやすい学習内容を学校として投げかけていくことは子どもの学習意欲の喚起とともに、家庭学習の促進につながる。

3. 読書の推進と基礎学力の定着を目指して

平野区において取り組まれている読書活動は本校のとっても推進している活動であり、その成果があらわれている。読書とともに身近な学習として漢字の学習に全校的に取り組みたい。漢字の学習に漢字検定を取り入れることは子どもの学習意欲の喚起につながる。目標をもって学習に取り組み、検定にむけて家庭でも漢字の学習に取り組むことをしじるとで、家庭学習の推進につなげていきたい。